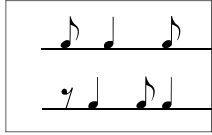


# 第4学年 音楽科学習指導案

- 1 題材 曲の気分によって歌おう (5校時・第1音楽室/6校時・4年O組教室)  
 2 教材 「友だちシンドバッド」 芙龍明子 作詞 ・ 橋本祥路 作曲  
 3 指導に当たっての考え方

教材分析	
<p>楽曲「友だちシンドバッド」は、アラビアンナイトに出てくるシンドバッドと「ぼく」が冒険していく物語仕立てのリズミカルで楽しい楽曲である。                      特徴的な要素は以下の通りである。                      歌詞：1, 2, 3番の前半部分で物語が展開している。後半部分では、ぼくの気持ちが込められている。                      リズム：同音が連続するリズムやシンコペーションのリズムが、リズミカルである。</p>	<p>強弱：前半はm f やm p で物語を話すように、後半をfで冒険の楽しさを表現することができる。                      速さ：「自由な速さで」となっており、歌詞内容や自分の思いにあった速さの工夫ができる。                      以上のような教材であるので、曲の気分を感じ取りながら強弱や速さを工夫して表現することができる。</p>



児童の実態
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌を好み、大きな口で歌ったり曲に合わせて身体表現をしたりする姿が見られる。しかし、歌詞内容からとらえた思いを歌声で表現しようとするはまだ十分ではない。</li> <li>○ 歌詞や旋律から受けた感じを強弱や速さ等を変化させて工夫した経験があるが、そのよさを感じ取ることはまだ十分ではない。</li> <li>○ 歌う姿勢に気をつけながら歌い、響きのある歌声に関心をもち始めている。</li> </ul>

聴く活動を中心とした主な支援	自分の思い	指導内容
<p><b>曲想や曲の特徴を聴く活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 範唱CDの聴き取り</li> <li>○ 教師の範唱の聴き比べ</li> <li>○ 絵本や情景画の提示</li> <li>○ 縦書き歌詞と拡大楽譜の提示</li> </ul>	<p><b>つかむ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リズミカルに楽しく冒険の様子を歌っていききたいな。</li> <li>・ 冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように歌っていききたいな。</li> </ul>	<p>曲の気分を感じ取りながら斉唱で歌い、次時表現への具体的な思いをもつこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 曲想をとらえること</li> <li>○ 歌詞や旋律を正しく歌うこと</li> <li>○ 前半部分で物語が展開していて、冒険の様子が歌われていること</li> </ul>
<p><b>思いに沿った歌い方の工夫をするための聴く活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 強弱の変化の聴き比べ・歌い比べ</li> <li>○ 速さの変化の聴き比べ・歌い比べ</li> </ul>	<p><b>深める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように歌うことができてきたよ。</li> <li>・ 最後の部分を盛り上げて歌いたいなあ。</li> </ul>	<p>ぼくの気持ちや「それはだれでしょう」の部分表現するために、強弱や速さ等を工夫すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌い比べや聴き比べをしながら表現への思いを実現すること</li> </ul>
<p><b>思いを込めた表現を味わい、音楽のよさを感じ取るための聴く活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主旋律と副次的旋律の聴き比べ・歌い比べ</li> </ul>	<p><b>味わう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌い方を工夫することで、冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように歌うことができてきたよ。</li> <li>・ 副次的旋律を加えると、最後盛り上がったよ。</li> </ul>	<p>自分たちが創り上げた表現を歌ったり聴いたりして歌い浸ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように歌うこと</li> <li>○ 副次的旋律を正しく歌うこと</li> </ul>

題材目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 冒険の様子やぼくの気持ちを想像しながら、表現への思いをもって歌おうとしている。 (関心・意欲・態度)</li> <li>○ 曲の気分によって、強弱や速さ等を工夫して歌うことができる。 (感受・表現の工夫)</li> <li>○ 歌詞やリズムに合わせて、自然で無理のない声で歌うことができる。 (表現の技能)</li> </ul>

4 指導計画(2時間)

	つかむ① (4の2) 本時	深める・味わう① (4の3) 本時
ねらい	曲想をとらえ、シンドバッドとぼくの冒険の様子を思いうかべながら正しく歌うことができる。	歌詞内容や自分の思いに合うように強弱や速さ等を工夫して歌うことができる。
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲想を感じ取ること</li> <li>○斉唱で正しく歌うこと</li> <li>○歌詞に込められた思いを感じとること</li> <li>○表現への思いをもつこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○強弱や速さ等を工夫して、思いに沿った表現ができるようにすること</li> </ul>
主な学習活動と内容	<p>1 楽曲「友達シンドバッド」と出会い、本時学習のめあてについて話し合う。 【聴く活動①】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>シンドバッドとぼくが冒険している様子を思い浮かべながら、楽しく歌おう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ シンドバッドとぼくが冒険しているリズムカルで楽しい曲であること</li> </ul> <p>2 冒険の様子を思い浮かべながら歌う。</p> <p>(1) 範唱 CD に合わせて斉唱で歌う。 ○ 歌詞や旋律を正しく覚えて歌うこと</p> <p>(2) 歌いにくい部分を取り出して歌う。 ○ うまく歌えていないシンコーペーションのリズムや音程を正しく歌うこと</p> <p>(3) 歌詞から冒険の様子について話し合う。 ○ 1番, 2番, 3番では、場面の様子が違うこと</p> <p>3 本時学習のまとめとして歌い、次時学習への思いをもつ。</p> <p>(1) 本時学習のまとめとして歌う。 ○ シンドバッドとぼくが冒険している様子を思い浮かべながら歌うこと</p> <p>(2) 前半と後半を聴き比べながら、次時学習について話し合う。 ○ 冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように、工夫して歌うこと 【聴く活動②】</p>	<p>1 前時学習を振り返りながら、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように工夫して歌おう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 冒険の様子を思い浮かべながら歌詞や旋律を正しく歌うこと</li> </ul> <p>2 冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように工夫して歌う。 【聴く活動③】</p> <p>(1) ぼくの気持ちについて話し合い、歌い比べたり、聴き比べたりする。  ○ ワクワドキドキしたぼくの気持ちが歌われている後半部分を、前半部分よりも力強く歌うこと</p> <p>(2) 「それはだれでしょう」の部分を歌い比べたり、聴き比べたりする。  ○ 尋ねているように、ゆっくりやや弱く歌うこと</p> <p>(3) 後半部分の中でも、ぼくの気持ちが強く込められた最後の部分について話し合い、副次的旋律を加えて歌う。  ○ 曲の最後の部分を盛り上げて歌うこと</p> <p>3 「友だちシンドバッド」を歌い、本題材の学習をまとめる。</p> <p>(1) 本時学習のまとめとして、工夫した表現を聴きながら歌う。 【聴く活動④】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように工夫して歌うこと</li> </ul> <p>(2) 本題材の学習を振り返る。 ○ 冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように強弱や速さ等を工夫して歌ったこと</p>

5 本時 つかむ段階（1 / 2）

6 本時の目標

シンドバッドとぼくが冒険している楽しい曲であることを感じ取り、冒険の様子を思い浮かべながら、正しく歌うことができる。

7 準備 教師：範唱CD、拡大楽譜、縦書き歌詞、絵本、航海図、情景画

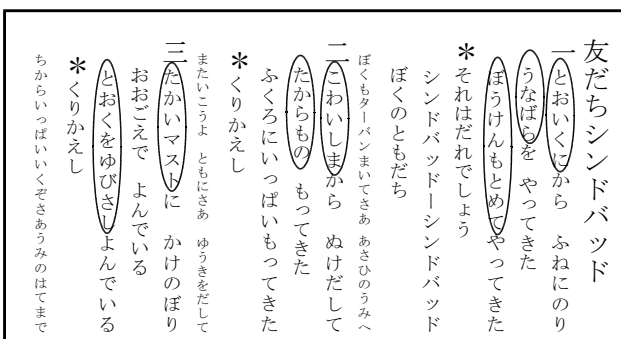
8 本時指導の考え方

本時は、1番と2番と3番では、冒険の様子が違うことをしっかりと捉え、その様子を表現するための次時課題・表現への思いをもつことが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとりながら学習を進めていく。

- まず、楽曲に出会う場面で、アラビアンナイトの絵本を見せ、シンドバッドについて話し合った上で範唱CDの聴き取りをさせる【聴く活動①】。つかんだ曲想から、本時学習のめあてについて話し合わせる。

【聴く活動①】について


ねらい	手だて	期待する子どもの様子
歌詞の内容に着目しながら、曲想を感じ取らせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンドバッドについて知るために、「友だちシンドバッド」の絵本を提示する。</li> <li>オーケストラ版の範唱CD</li> <li>歌詞に着目できるように縦書き歌詞を提示し、範唱CDを聴かせる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンドバッドとぼくが冒険している曲だな。</li> <li>はずんだ感じの楽しい曲だな。</li> <li>わくわくドキドキするような曲だな。</li> <li>前半は冒険のようすが歌われているね。</li> </ul>

- 次に、斉唱の練習をし、シンコペーションのリズムや八分休符の取り方など、リズムの特徴を感じながら歌うことができるようにしていく。


- さらに、1番2番3番の場面の様子が違うことをとらえさせるために、歌詞に合った情景画を提示し、冒険の様子を場面ごとに具体的に思い浮かべていく。

- 最後に、冒険の様子を思い浮かべながら歌い、歌声として表現できているかを確認するために、聴き役をつくりふり返りをする。【聴く活動②】 そのふり返りをもとに、さらに冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるようにするためには、どうすればいいのかを考え、次時学習の具体的な課題を見つけさせる。

【聴く活動②】について

ねらい	手だて	期待する子どもの様子
自分達の歌声を客観的に聴き、次時表現に向けての具体的な表現への思いをもたせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンドバッドとぼくが冒険している様子を思い浮かべながら歌い、聴き役をつくり、冒険の様子が伝わるように歌えているか確認する。</li> <li>* シンコペーションのリズムや                          八分休符の取り方などリズムの特徴を感じながら歌えているか           </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前半部分は、語りかけるように歌えていたが、後半部分も、歌い方の工夫をすると、もっと冒険している様子が伝わるなあ。</li> </ul>

9 展開

学習活動と内容 (○)	主な支援・学習活動における評価規準(※)
<p><b>1 楽曲「友だちシンドバッド」と出会い、本時学習のめあてについて話し合う。</b></p> <p>(1) 範唱CDを聴き、曲想をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ シンドバッドとぼくが冒険しているリズムカルで楽しい曲であること</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【聴く活動①】</b></p> <p>(2) 本時学習について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時学習のめあてを明確にもつこと</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>シンドバッドとぼくが冒険している様子を思い浮かべながら、楽しく歌おう</p> </div> <p><b>2 冒険の様子を思い浮かべながら歌う。</b></p> <p>(1) 範唱CDに合わせて斉唱で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞を正しく覚えて歌うこと</li> <li>○ 音程やリズムを確かめながら歌うこと</li> </ul> <p>(2) 歌いにくい部分を取り出して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ うまく歌えていないシンコーペーションのリズムや音程を正しく歌うこと</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(3) 歌詞から冒険の様子について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1番, 2番, 3番では、場面の様子が違うこと</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1番：シンドバッドが遠い国からふねに乗ってやってきた場面</p> <p>2番：シンドバッドがこわい島からぬけ出して、宝物をもってきた場面</p> <p>3番：シンドバッドがマストにかけのぼって、遠くを指さしている場面であること</p> </div> <p><b>3 本時学習のまとめとして歌い、次時表現への思いをもつ。</b></p> <p>(1) 本時学習のまとめとして歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ シンドバッドとぼくが冒険している様子を思い浮かべながら歌うこと</li> </ul> <p>(3) 前半と後半を聴き比べながら、次時学習について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように、工夫して歌うこと</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【聴く活動②】</b></p>	<p>・シンドバッドについて知るために、絵本や航海図・情景画を提示する。</p> <p>・歌詞や楽譜に着目しやすいうように、縦書き歌詞と拡大楽譜を提示する。</p> <p>※ シンドバッドとぼくが冒険している、リズムカルで楽しい曲であることを感じ取っている。</p> <p>・斉唱で正しく歌えるようにするため、ピアノで音をとったり、教師と一緒に歌ったりしながら範唱CDに合わせて歌う。</p> <p>・音程など不安定な部分を取り出して練習する。</p> <p>・シンコーペーションのリズムや八分休符の取り方など難しい部分には、リズム打ちする。</p> <p>・1番, 2番, 3番の歌詞に合った情景画を3枚提示し、場面の様子を思い浮かべることができるようにする。</p> <p>・歌い比べや聴き比べをしながら、冒険の様子にあった歌い方を見つけていく。</p> <p>・聴き役をつくり、冒険の様子を思い浮かべながら歌えているか、確認させる。</p> <p>※ 歌詞や旋律を正しく、リズムの特徴を感じ、冒険の様子を思い浮かべながら歌っている。</p> <p>・拡大歌詞や拡大楽譜、情景画をもとに、冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように「それはだれでしょう」の部分やぼくの気持ちが込められている後半部分を工夫していくことを共通理解する。</p>

5 本時 深める・味わう段階（2／2）

6 本時の目標

「友だちシンドバッド」に歌われている冒険の様子やぼくの気持ちを強弱や速さを工夫して表現することができる。

7 準備 教師：範唱 CD、拡大楽譜、縦書き歌詞、情景画

8 本時指導の考え方

本時は、冒険求めてやってきたシンドバッドと出会い、これから一緒に冒険に向かうワクワクドキドキしたぼくの気持ちを強弱や速さを工夫することで表現できることが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとりながら学習を進めていく。

- まず、ワクワクドキドキしているぼくの気持ちが表れている後半部分を歌い比べたり、聴き比べたりしながら、前半部分よりも後半部分を強く歌った方が、ぼくの気持ちを表現することができるを感じ取らせたい。

次に、第三者が尋ねている「それはだれでしょう」の部分を音読することで尋ねているように歌うことを感じ取らせていきたい。

【聴く活動③】



ねらい	手だて	期待する子どもの様子
<p>これからシンドバッドと一緒に冒険へ向かうぼくの気持ちを表現することができる。</p> <p>歌詞の中で、唯一第三者が尋ねている部分を表現することができる。</p>	<p>・ぼくの気持ちの意見を出させた後、歌い比べや聴き比べをさせる。</p>  <p>シンド</p>  <p>パッ ドーシンドバッドー ぼくのもだち {ぼくも、また、ちから</p> <p>ターナー-まいて さ あー あさひのうみ へ -          こよ-どもに さ あー ゆうきをだして -          いっぱい-いぞ さ あー うみのはてまで -</p> <p>②カード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の音読</li> <li>・教師の範唱による聴き比べ</li> </ul>  <p>それはだれ でしょう</p>	<p>・前半部分よりも後半部分を強く歌った方が、ぼくのこれから冒険へ向かうワクワクした気持ちを表現することができるな。</p> <p>・尋ねているようにゆっくりやや弱く歌ってみよう。</p>

- 最後に、本題材のまとめとして聴き役をつくったり、グループをつくり互いに聴き合うせたりすることで、後半部分は前半部分より力強く歌うことができ、よりぼくの気持ちを歌声で表現することができたという充実感や満足感を味わせたい。

【聴く活動④】

ねらい	手だて	期待する子どもの様子
<p>冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように工夫して歌うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師によるピアノ伴奏</li> <li>・聴き役をつくる</li> </ul>	<p>・前半部分よりも後半部分を強く歌った方が、ワクワクドキドキしたぼくの気持ちが伝わるなあ。</p>

9 展開

学習活動と内容 (○)	主な支援・学習活動における評価規準(※)
<p>1 前時学習を振り返りながら、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 「友だちシンドバッド」を歌いながら、前時学習を想起する。 ○ 冒険の様子を思い浮かべながら歌詞や旋律を正しく歌うこと</p> <p>(2) 本時学習のめあてについて話し合う。 ○ 本時学習の目標を明確にもつこと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように工夫して歌おう</p> </div> <p>2 冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように工夫して歌う。 【聴く活動③】</p> <p>(1) ぼくの気持ちについて話し合い、歌い比べたり、聴き比べたりする。 ○ ワクワドキドキしたぼくの気持ちが歌われている後半部分を、前半部分よりも力強く歌うこと</p> <p>(2) 「それはだれでしょう」の部分を歌い比べたり、聴き比べたりする。 ○ 尋ねているように、ゆっくりやや弱く歌うこと</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>それはだれ しょう</p> </div> <p>(3) 後半部分の中でも、ぼくの気持ちが強く込められた最後の部分について話し合い、副次的旋律を加えて歌う。 ○ 曲の最後の部分を盛り上げて歌うこと</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>あさひのうみ へ — ゆうきをだし て — うみのはてま て —</p> </div> <p>3 本時学習のまとめとして工夫した表現を聴きながら歌い、次時表現への思いをもつ。 【聴く活動④】</p> <p>(1) 本時まとめとして工夫した表現を聴きながら歌う。 ○ 冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように工夫して歌うこと</p> <p>(2) 本題材を振り返る。 ○ 冒険の様子やぼくの気持ちが伝わるように強弱や速さ等を工夫して歌ったこと</p>	<p>・前時学習を想起させるために、拡大歌詞や拡大楽譜、場面毎の情景画を掲示しておく。</p> <p>・後半部分を表した情景画を提示し、本時は、冒険の様子だけでなくぼくの気持ちが伝わるように工夫していくことを共通理解する。</p> <p>・ぼくの気持ちが伝わるように、歌い比べたり聴き比べたりしながら、前半部分をおさえながら、後半部分に向けて力強く歌っていく。</p> <p>・㊦カードを用意しておき、「それはだれでしょう」の部分を工夫していくことを捉えさせる。そして、歌詞を読むことで尋ねているように歌うことを感じ取らせたい。</p> <p>・歌い比べたり、聴き比べたりしながら、「それはだれでしょう」に合う歌い方を見つけ出させていく。</p> <p>※「それはだれでしょう」に合うように表現することができる。</p> <p>・ぼくの気持ちをより強く表現するための工夫として副次的な旋律を提示し、歌い比べたり、聴き比べたりする。</p> <p>・拡大歌詞や拡大楽譜で、今日の学習を振り返らせ、教師によるピアノ伴奏に合わせ歌う。</p> <p>※冒険の様子やぼくの気持ちを表現するた強弱や速さ等の工夫をしたよさを感じ取っている。</p>